

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	社会はり・きゆう学2	講義	1	20	鍼灸科目全般
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸 2学年	竹村千冬・川口拳	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特記事項なし		
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
社会医学的側面におけるはり・きゆうの役割について学習し、将来の仕事に役立てることができるようにする。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
鍼灸分野ではなく、あらゆる分野の様々な事について気にかけることで自らの職域を意識する機会にしていきたい。					
教科書・参考書					
当校指定の教科書「公衆衛生学」「医療概論」「関係法規」「リハビリテーション医学」など					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。（公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします）。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	筆記試験の正答率を成績判定の参考とします。			
その他		臨時に成績判定に組み入れる課題を別途追加して評価割合を変更する場合は事前に告知します。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		鍼灸業界事情		/	
2		鍼灸業界事情		/	
3		鍼灸業界事情		/	
4		鍼灸業界事情		/	
5		学術研究と鍼灸		/	
6		学術研究と鍼灸		/	
7		学術研究と鍼灸		/	
8		学術研究と鍼灸		/	
9		学術研究と鍼灸		/	
10		学内発表		/	